

中学校 情緒障害等通級指導学級

自立活動とは

- 個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培うことを目標とする活動のこと

内容

**健康の保持 心理的な安定 人間関係の形成
環境の把握 身体の動き コミュニケーション**

2

けやき学級設置の目的

市内の中学生の中で、何らかの原因により学校に不応を起こしていたり、学習の一部に目立ったつまずきが見られたりする生徒が週の特定の曜日・時間に通級します。

個別対応を中心にそれぞれの課題を改善・克服し、順調な学校生活を送れるよう、指導・支援していく学級です。

(けやき学級では多くの生徒が週1日5時間の通級を行っています)

3

けやき学級 教育目標

個々の課題を改善するために以下の目標を設定しています。

- ・他者と関わる楽しさを知り、言語等によって思考を深めたり表現したりしてコミュニケーション力を育む。
- ・自己理解を高めたり、様々な体験を通じて興味関心の幅を広げたりして集団の中で状況に応じた行動がとれるようになる。
- ・行動のプランニングや時間の管理、優先順位を決定するといった実行機能能力を高める。
- ・生活リズムを整え、健康な身体づくりをすることで情緒を安定させる。

4

けやき学級で行う授業内容の例

各学期の目標設定
ソーシャルスキルトレーニング
けやき遠足
調理活動
定期考査に向けて など

**健康の保持 心理的な安定 人間関係の形成
環境の把握 身体の動き コミュニケーション**
の向上をベースにして取り組みます

5

けやき学級の入級対象生徒

○入級対象

市内中学校に在籍し、通常の学級での活動におおむね参加できるものの、何らかの心理的、情緒的要因で不応状態の生徒のうち、通級による指導が望ましいと判断された生徒を対象とします。

主訴が

**情緒障害 → けやき学級
(自閉スペクトラム症・LD・AD/HD・選択制かん黙等)**

不登校(傾向含) → 適応指導教室

知的障害 → 特別支援学級(知的・固定学級)

個別のケースによるので、全てがこのようになるとは限りません。

6

入級にあたって

- 見学や相談は随時、受け付けています。
- まずは在籍校(担任や特別支援教育コーディネーター等)へ相談をお願いします。
- 見学や相談を通じて「通級に通うこと」の目的を保護者、本人、在籍校とよく相談しましょう。